

一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構  
研修暫定細則

2022年8月2日制定

(目的)

第1条 この細則は、一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構（以下「機構」という。）が実施する URA スキル認定制度に基づき URA のスキル認定に必要な研修に関し、一般社団法人リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構研修規程（以下「研修規程」という。）第2条、第5条及び第7条に基づき、研修の実施に際し必要な事項を定めることを目的とする。

(研修における科目)

第2条 Fundamental レベル及び Core レベルにおける科目は、別表1に定める通りとする。

2 Core レベルの修了要件において、研修規程第2条第4項に定める「所定数」とは「別表1の15科目中12科目」とする。

(関係団体等による研修の読替え手続き)

第3条 Fundamental レベル及び Core レベルの研修については、レベル毎に全科目まとめでの読替えとする。

2 関係団体等は、自らが実施する研修について、機構が実施する研修への読替えを希望する場合、付録1の様式により、機構が指定する時期に提出するものとする。

3 機構は、関係団体等から読替えに係る書類の提出があった場合には、速やかに審査し、当該結果を通知するものとする。

4 読替えの対象となる関係団体等の研修は、原則として読替えを申請する時点で過去5年以内に実施された研修とする。

5 関係団体等からの読替えの申請期間及び審査の実施期間は、令和5年度までとする。

6 前各項に定めるもののほか、読替えの審査について必要な事項は、別に定める。

(希望者による研修修了の読替え手続き)

第4条 関係団体等が実施した研修の修了を、機構が実施する研修の修了と同等とみなす読替えを希望する者（以下「希望者」という。）は、機構が別に定める様式に関係団体等が実施した研修の修了を証する書類（以下「修了証」という。）を添えて、機構が指定する時期に提出するものとする。

2 機構は、希望者から読替えに係る書類の提出があった場合には、速やかに確認し、当該

結果を通知するものとする

- 3 読替えによる当該研修修了の有効期間は、希望者が提出した修了証記載の日付が属する過去の期（4月～9月（前期）又は10月～翌年3月（後期））から起算して最大10期（5年）とする。
- 4 希望者による読替えの申請期間及び確認の実施期間は、令和5年度までとする。
- 5 前各項に定めるもののほか、読替えの手続きについて必要な事項は、別に定める。

（細則の改廃）

第5条 この細則の改廃は、機構長が行う。

（雑則）

第6条 この細則に定めるもののほか、研修に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この細則は、2022年8月2日から施行し、2022年4月1日から適用する。
- 2 第3条の規定の適用については、2024年3月31日までとする。

別表 1

科目群	科目 番号	科目名
A. 研究機関と URA	1	大学等の研究機関
	2	日本の URA
B. 研究力分析とその活用	3	科学技術政策概論
	4	研究力分析とその活用
C. 研究開発評価	5	研究開発評価
D. 外部資金	6	外部資金概論
	7	申請書・報告書の作成支援
E. 研究プロジェクト	8	研究プロジェクトのマネジメント手法
F. セクター間連携	9	産学官連携
	10	地域連携
G. 知的財産	11	知的財産
H. 研究コンプライアンスとリスク管理	12	研究コンプライアンス及びリスク管理①
	13	研究コンプライアンス及びリスク管理②
I. 研究広報	14	広報
J. 国際化推進	15	国際化推進

Fundamental/用		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
申請する研修科目名 対応する研修科目名																
A 研究機関と URA	1 大学等の研究機関															
	2 日本のURA															
B 研究力分析と その活用	3 科学技術政策議論															
	4 研究力分析とその活用															
C 研究開発評価	5 研究開発評価															
	6 外研資金概論															
D 外研資金	7 申請書・報告書の作成支援															
	8 研究プロジェクトのマネジメント手法															
E 研究プロジェクト	9 産学連携															
	10 地域連携															
F セクター間連 携	11 知的財産															
	12 研究コンプライアンス及びリス ク管理①															
H アイアンスとリ スク管理	13 研究コンプライアンス及びリス ク管理②															
	14 広報															
I 研究広報	15 国際化推進															
	国際化推進															

※応募したい研修科目名を上に記載の上、対応する研修科目名について「○」をししてください。なお、一つの応募したい研修科目が、複数の対応する研修科目をカバーする場合には、該当する研修科目全てに「○」をししてください。

Core用		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
★両する研修科目を 対応する研修科目を																
A	1 次等卒の研習履修 JPA															
B	2 日本のJPA 3 社会学科の履修 4 研究分析とその応用 5 研究発表の場 6 外国語の履修 7 学位論文の作成 8 研究プロジェクトのマネジメント															
C	9 研究発表 10 学位論文															
D	11 学位論文															
E	12 研究論文 13 学位論文															
F	14 学位論文															
G	15 学位論文															
H	16 学位論文															
I	17 学位論文															
J	18 学位論文															

※両する研修科目を★上に記載の上、対応する研修科目について「○」をしてください。なお、一つの研修科目が、複数の対応する研修科目をカバーする場合には、両する研修科目全てに「○」をしてください。

様式1								
申請するレベル	申請する研修科目名	研修科目の概要	研修科目の開講期間 (年度単位)	時間数(合計)	開講形式	成績判定の手法	添付資料番号	
Fundamental	Core							